

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月20日

計画の名称	やすらぎと快適な生活環境を支える下水道 第2期 (重点計画)												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	立川市												
計画の目標	効率的な施設整備と管理により、快適な生活環境を支える下水道サービスを持続的に提供する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	6,540	A	6,540	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	東京都多摩川流域下水道北多摩二号処理区への公共下水道錦町処理区編入事業を着実に推進することで、高度処理化により公共用水域の水質向上と安定した下水道経営につながる。なお、計画期間内に18工程のうち15工程の実施を予定する。 編入事業の工程進捗率 編入事業の進捗済工程数/流域編入事業の総工程数(全18工程)	33%	61%	83%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	立川市	直接	立川市	管渠(合流)	新設	東京都多摩川流域下水道北多摩二号処理区への公共下水道錦町処理区流域編入事業	錦幹線 L=3.4 k m 下水送水施設(沈砂池等) 流入渠 L=0.22 k m 施設撤去	立川市						6,540	0	-
											小計						6,540		
											合計						6,540		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
1.一次評価：立川市環境下水道部下水道工務課において事業の実績表を作成し、目標と照らし合わせ定量的指標の達成状況を明らかにする。 2.二次評価：定量的指標の達成状況等について、学識経験者より意見をいただく。 3.二次評価の結果を事後評価書に反映する。	令和3(2021)年11月
	公表の方法 立川市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	流域編入に必要な下水送水施設の建設工事について、現処理施設の支障移設工事及び土壌改良工事による遅れが発生する中、全18工程のうち目標の15工程に対して、実績として13工程まで達成し、流域編入事業の完成に向けて前進した。 また、流域編入事業の完了により、高度処理が促進され、多摩川及び東京湾の水質が向上すること、下水道施設整備費の縮減に寄与すること、及びスケールメリットを活かした効率的な事業運営や維持管理費の抑制に寄与する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
・令和5(2023)年度の流域編入に向け、引き続き適切な工程管理を行い、錦幹線・下水送水施設・流入渠の整備に取り組む。	

